

基礎作業学（実習）

【科目名】基礎作業学（実習）		【担当教員】氏名 栗原トヨ子、長谷川裕 田中 善信、藤本 聡							
【授業区分】専門分野（基礎作業療法学）	【授業コード】 4-21-0805-0-1	(メールアドレス) kurihara@nur.ac.jp							
【開講時期】3年前期	【選択必修】必修	(オフィスアワー) 来学時に対応							
【単位数】1	【コマ数】45コマ								
【注意事項】 (受講者に関わる情報・履修条件) 2年生の基礎作業学（講義）を履修し、単位を取得していること。 (受講のルールに関わる情報・予備知識) 作品等の提出物については提出期限を守ること。									
【講義概要】 (目的) 基礎作業学（講義）で学んだ作業活動を実際に体験して、机上の理論と実習の統合を目的とする。 (方法) 陶芸、木工、手工芸・織物などの作業活動を実際の手順に従って実習していく。									
【一般教育目標(GIO)】 作業療法でよく用いられる作業種目について、正しい道具の扱い方と種々の技法を習得する。 製作体験により、その作業の特徴を知り、機能回復への適応を考えることができるようにする									
【行動目標(SBO)】 ・それぞれの種目に必要な道具・材料・制作方法を述べることができる。 ・それぞれの種目の禁忌事項を述べることができる。									
【教科書・リザーブドブック】 「作業学」ゴールドマスター・テキスト 第2巻 メジカルビュー社 4700円＋税 その他必要に応じて資料配布									
【参考書】 「作業で語る事例報告」—作業療法レジメの書き方・考え方— 医学書院 その他各種手工芸の書籍									
【評価に関わる情報】 (評価の基準・方法) ・評価基準は本学学則規定の GPA 制度に従う。									
【達成度評価】		試験	小テスト	レポート	成果発表	実技	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合		50			20	20	10		100点
評価指標	取り込む力・知識								
	思考・推論・創造の力								
	コラボレーションとリーダーシップ								
	発表力								
	学修に取り組む姿勢								

平成 26～28 年度入学者用

【授業日程と内容】				
回数	講義内容	授業の運営 方法	学修課題(予習・復習)	時間 (分)
1～ 2	オリエンテーション(講義概要・方法・スケジュール)	講義 グループ討議	オリエンテーションで提示	
3～ 4	マクラメ・ビーズ紹介 道具・材料 制作方法 制作実習、治療的適応、禁忌	講義 グループ討議	作業活動の分析レポート 作成	30分
5～ 6	マクラメ・ビーズ 治療的適応、応用、段階付けの方法、禁忌	講義 グループ討議	分析レポート作成	30分
7～ 9	かご細工紹介 道具・材料、制作実習、	講義 グループ討議	分析レポート作成	30分
10～ 12	かご細工 治療的適応、応用、段階付け、禁忌	講義 グループ討議	分析レポート作成	30分
13～ 15	織物紹介 制作実習、治療的適応、応用、段階付け、禁忌	講義 グループ討議	分析レポート作成	30分
16～ 18	織物 制作実習、治療的適応、応用、段階付け、禁忌	講義 グループ討議	分析レポート作成	30分
19～ 21	織物 制作実習、治療的適応、応用、段階付け、禁忌	講義 グループ討議	分析レポート作成	30分
22～ 24	七宝焼紹介 道具・材料、制作方法、治療的適応、禁忌	講義 制作実習	分析レポート作成	30分
25～ 27	木工紹介 道具・材料・制作方法	講義 制作実習	分析レポート作成	30分
28～ 30	木工 制作実習、治療的適応、応用、段階付け、禁忌	講義 制作実習	分析レポート作成	30分
31～ 33	木工 制作実習、治療的適応、応用、段階付け、禁忌	講義 制作実習	分析レポート作成	30分
34～ 36	木工 制作実習、治療的適応、応用、段階付け、禁忌	講義 制作実習	分析レポート作成	30分
37～ 39	作業を用いた事例検討	グループ討議	分析レポート作成	30分
40～ 42	作業を用いた事例検討	グループ討議		30分
43～ 45	作業を用いた事例検討 まとめ	発表		

※授業日・教室は随時学生ポータルサイトにて配信します。

※ここに示す学修課題の時間は、必要とする授業外の学修時間(授業時間の3倍)に含むべき時間を示します。